

令和3年1月14日

## 【地域活動支援センターこまつがわご利用の皆様へ】

### 新型コロナウイルス感染症発生のご報告とお願いについて

緊急事態宣言が発出される見通しになり、利用者の皆さんは、不安を感じていることと思います。

さて、本日1月14日(木)、地域活動支援センターこまつがわの利用者1名がPCR検査により、新型コロナウイルスへの感染が判明いたしました。事業所においては、江戸川区保健所の指導のもと、利用者及びスタッフの安全の確保、感染防止を行います。

本日も事業所は開所していますが、事業所内の消毒作業が完了するまで一部閉鎖しております。まずは第一報をこちらで周知させていただきます。

そこで、事業所を利用する皆さまにお願いがあります。

熱があるなど、健康上の理由などで通所等ができないかもしれないと感じた方は、各事業所にご連絡いただき、無理な外出をしないようお願いいたします。

また、当事業所は可能な限り開所を継続していく予定ですが、感染状況によっては、活動内容の変更があるかもしれませんので、ご理解の程よろしくをお願いいたします。

感染拡大が進むと、ウイルスへの恐怖が高まります。冷静さを失うと、偏見差別につながり、頭ごなしに非難してしまうかもしれません。自分が偏見差別を受ければ、すぐにわかるのに、人に対して偏見差別するとき、私たちはそれに気付きません。

しかし、差別は分断を生み出すだけで、問題は解決しません。恐怖や差別の根っこは誰でも持つてしまう過剰な防衛本能だからです。また、差別的な言葉を発してしまった人も、意地悪で偏見差別を起こしているのではなく、動機は家族愛であり、自分や家族、大切な人を守りたい思いからであり、意地悪な悪人ではありません。

ここ、地域活動支援センターこまつがわは、障害の有無にかかわらずつながれる場所、こちゃまぜな多様性を受け入れられる地域や居場所を創りたいという思いから立ち上げた事業所です。こんな時だからこそ、皆さまで団結して恐怖に負けないように、お互いに優しい言葉をかけ合いましょう。そして、正しく知り、正しく恐れましよう。

ソーシャルディスタンスを心がけ、感染拡大を防ぎながら、引き続き、その人らしい生活を送れる生活支援ができるように、スタッフ一同、努力していきたいと思います。

事業継続のためにも、一人ひとりが自覚を持って行動し、感染を防ぐよう努めていただけてますようお願いいたします。

社会福祉法人 ひらいるミナル  
理事長 河野 文美  
地域活動支援センター こまつがわ  
施設長 稲富 良子